

## 令和5年度

### 第1回桐生市地域公共交通活性化協議会（法定協議会）

#### 開催結果

開催日時：令和5年4月28日（金） 午後2時00分～午後3時00分

場 所：桐生市市民文化会館 スカイホールA

出席者：別紙出欠名簿のとおり

1 開 会

2 あいさつ

3 委員委嘱

4 「桐生市地域公共交通活性化協議会」について

5 会長・副会長の選任

《会長：天谷賢児委員 副会長：石原雄二委員》

6 監査の選任

《監査：近藤圭子委員、山形賢助委員》

7 審議事項

議案第1号 令和5年度事業計画（案）について

議案第2号 令和5年度予算（案）について

議案第3号 桐生市地域公共交通計画策定支援業務委託に関する  
契約方法と委託内容について

《承認結果：全件 出席者の3分の2以上の賛成により承認》

8 その他

9 閉 会

## 5 議事等

### ○委員委嘱

### ○会長・副会長の選任

委員の互選により選任（事務局案どおり）

会長：天谷 賢児（群馬大学 教授）

副会長：石原 雄二（桐生商工会議所 専務理事）

### ○監査の選任

会長が指名（事務局案どおり）

監査：近藤 圭子（きりゅう市民活動推進ネットワーク）

山形 賢助（第21区長）

### ○協議事項

議案第1号 令和5年度事業計画（案）について

- ・協議会の実施スケジュール及び各回の概要及び主な議題について協議
- ・「桐生市地域公共交通計画」の策定・公表時期は令和6年6月を目途とする

《意見》

（意見無し）

【出席者の3分の2（32/32 ※会長・群馬運輸支局除く）の賛成により承認】

議案第2号 令和5年度予算（案）について

- ・歳入：6,875,000円（桐生市負担金、国庫補助金）

歳出：6,875,000円（計画策定支援業務委託費、償還金（桐生市一般会計へ））

《意見》

（山形）国からの補助金が入ることは理解したが、なぜ支出の方で償還金という形で桐生市に支出するかが理解できない。国の補助金と桐生市からの負担金の合計を550万円とすれば運営できるのではないか？

事情があると思うが、なぜこのようなややこしいことをしているのか？

（事務局）桐生市のR5当初予算において、コンサル委託費として550万円を計上させていただいた。また、国からの補助金137万5千円も一旦協議会の歳入に入れ、総計予算主義の形を取らせていただいている。

【出席者の3分の2（32/32 ※会長・群馬運輸支局除く）の賛成により承認】

議案第3号 桐生市地域公共交通計画策定支援業務委託に関する契約方法と  
内容について

- ・「桐生市地域公共交通計画」策定に係る専門的な分析や評価手法による調査・  
検討を行う「桐生市地域公共交通策定支援業務委託」の契約方法と内容について  
協議（議案書参照）

≪意見≫

（佐羽）委託内容（3）公共交通に関する課題の整理に、「住民の移動実態、ニーズ把握の結果をもとに、本市において望ましい公共交通のあり方について方向性をまとめる」とある。

住民の移動実態及び現況、ニーズということをもとに交通計画を考えると、より個人交通のほうに流れて、公共交通の存続や維持からは離れていく方向に行った計画になりがちだと思う。

については、将来持続可能な地域となるための提案ができるだけの力量のあるコンサルを選定していただくことが必要だと考えるが、どうか。

（事務局）公共交通計画の土台となる「桐生市交通ビジョン」の中では、公共交通だけでなく、様々な交通について位置付けている。

交通ビジョンの理念及び施策を、委託するコンサルと十分協議しながら、できるところは公共交通計画でも位置付けていけるような形で進めていければと考えている。

（小島）桐生市は高齢化が進んでいる中、老人クラブでは免許返納が問題となっている。免許を返納しても楽しく暮らせる方法はないか、包括センターと老人会と社協で、MAYU 2台を借りて、梅田へそばを食べに行ってきた。最初は免許返納すると生活ができないかと思ったが、生活環境を変えていくと、免許が無くても楽しみができる。桐生発祥のMAYUや、わ鐵などの公共交通を大いに活用することについて方針に入れ、免許証がなくても楽しい生活ができる桐生としていただきたい。

（天谷）そういった要望を事務局で吸い上げ、コンサルとやりとりをしていただきたい。

次回からの委員会で委員の意見を盛り込めるチャンスがあると思うので、皆様から提案いただきたい。

（天谷）交通ビジョン（案）について本協議会に示すことはできるか？

（事務局）8月開催予定の第3回協議会で予定されている「地域公共交通計画策定に係る基本方針・目標・重点施策」と同程度のタイミングになるかどうかと思うが、委員の皆様方にご紹介させていただきたい。

(山形) 業務委託にあたり、3社を指名して指名競争入札を行うということだが、3社の選定にあたっては、誰がどのような形で選定するのか？  
委員会で発注する形になるとのことだが、市の選考委員会等にお世話になり選定するとか、出来るだけ透明性を図る必要がある。単純に事務局で選定するという事よりも、そのような機関があるのだとすれば、そういう所にお世話になった方が良いと思う。

(事務局) 選定については、あくまでも協議会が主体で入札を執行する。その前段で、市の契約担当に確認したところ、指名選考委員会等についても市を通さず協議会独自で行うことと回答を得ている。指名選考委員会に代わるものとして、本協議会の会長及び副会長に諮問させていただき選定をしていくことで考えている。

指名3社については、他の計画策定実績があることなど客観的に厳選して選定している。

(佐羽) 策定した計画について、それが本当に良いのか、ベストなのかどうかの検証はなかなか難しい。

委員に逐次事前の情報提供をいただけるような、コンサルへ丸投げにならないような仕組みにしていきたい。

(天谷) 逐次色々な意見をこの場でまとめていけたら良いということだと思う。色々な立場の方が委員になっているので、それぞれの立場でコンサルから出てきたものの内容を精査できたら良い。

(事務局) 委員の皆様には会議の中だけでなく、コンサルの進捗状況などの情報を事前にできるだけ提供させていただきたい。

(小林) GunMaaS についてはどう考えているか？

知事からも全県に波及させていきたいという話が出ている。

(事務局) MaaS については桐生市交通ビジョンにも位置付けており、それを基に具体的施策について交通計画に盛り込んでいくことを考えている。

群馬県からも GunMaaS への桐生市の積極的な参加について話をいただいており、どのような形で連携していけるか検討を進めてまいりたい。

(天谷) 各事業者様も様々な話を貰っていると思うので、それぞれの専門的な立場から協議会で協議ができればと思う。

【出席者の3分の2(32/32 ※会長・群馬運輸支局除く)の賛成により承認】

○その他

(小島) 公共交通についても根本的な所で関わる、コンパクトシティについて、桐生市はどのように考えているか。

(鈴木) 令和元年に策定したコンパクトシティ計画では、居住区域における接続に関する項目に公共交通サービスについて記載がある。また、上位計画である都市計画マスタープランにも公共交通について載っている。このような会議の場でも協議し、よりよいまちづくりを進めていきたい。

(佐羽) 桐生市も色々な計画があり、それらに取組んでいるわけであるが、現在の桐生市は、市民の行動の結果としてこうなっている。先ほど話のあったコンパクトシティ計画についても、市民がそのように行動しなければコンパクトシティにはならないのであって、そうしていかないといけない理由をきちんと市民が学習するステージがないと、絶対に変容はしないだろうと思う。

きちんと市民が行動するような仕組みを作ることが重要になってくると思うので、その点をどのように取り組んでいくかをビジョンに盛り込んでいただきたい。

(事務局) 交通ビジョンの議論の中でそのような意見をたくさんいただいている。市民ひとりひとりの移動の問題であり、ひとりひとりがこれからの持続可能な社会づくりという意味合いで行動をとっていけるような形の計画の示し方というものを考えてまいりたい。

(事務局) 次回開催は6月を予定している。

具体的な日時が決まり次第、改めてご案内する。